



はたらく女性のフロアかながわ (WWFK)

〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町8-25-203 本間重子気付

## 家事労働問題で公開学習会開催(報告)

2月16日、公開学習会を開催しました。テーマは「家事労働の社会化で女性は楽になるのーTVドラマ「逃げ恥」から読み解く家事労働ー」で、講師はお茶の水女子大学の斎藤悦子さんでした。

2016年にテレビドラマ化された「逃げるは恥だが役に立つ」は若い人を中心に評判になりました。斎藤さんも学生から「先生の研究テーマのようなドラマがある」と教わり、原作の漫画を購入したそうです。

主な内容は、大学院を出たが無職の女性が、家事サービスの仕事に就き、「雇用主である男性(平匡)と従業員(みくり)」という関係の契約結婚の道を選ぶ話です。そして、最終的には、正式に結婚し、家庭の共同経営責任者となり、生活をいかに経営するかを考えることとなります。

注目されるのが、共同経営責任者会議の存在です。企業経営の目的は利潤の達成ですが、家庭経営にとっては幸福の達成が目的になります。この目的を達成するために、①労働力再生産活動(家事労働)における生産性の向上と効率化②個人の成長と発展(幸福)を遂げるための戦略を考えます。

①では出来るだけスピードを上げ低コストで処理することが必要で、②では私的な家事労働を社会化することが求められます。「逃げ恥」では家事労働の社会化という視点が欠けていたと指摘がありました。

そこで現実はどうか、女性の労働力率、正規雇用率、共働き率が国内で最も高い福井県の女性の労働力再生産(家事労働)に関する調査結果についても報告がありました。調査は夫婦と子ども世帯と三世帯世帯が対象です。

家事労働の社会化は、家電製品と家事支援サービスの利用の2項目を質問。調査対象世帯での食洗器、乾燥機付き洗濯機、掃除ロボットの所有率は全国平均よりいずれも高く、家事支援サービスは3分の1の対象者が利用しており、この中には世帯外の親族による支援も含まれます。そして支援に対して、金銭の支払いを行うとの回答もありました。

社会化の程度が最も高かった事例Aと最も低かった事例B(A Bとも夫婦と子ども世帯)を比



公開学習会の様子

較すると、世帯内のジェンダー平等(夫の家事参加、社会活動時間の確保)は社会化の低いBの方が進んでおり、家事労働についての満足感でも事例Aの妻は不満、事例Bの妻は満足という結果で、三世帯同居では家事労働が短くならず、満足感にも繋がらないという結果になっています。

会場からは「かながわ男女共同参画プラン(第4次)」に対する意見が多く出ました。その他、意見は次の通り。

- ・長時間労働(全国第4位)、長時間通勤(全国第1位)を何とかしなければ仕事と家庭の両立は出来ない。
- ・このような観点のドラマや漫画があることは面白いが、自分のところでは生活経営の話は出来ていない。
- ・「見えない家事」が際限なくある。それを社会化出来るかどうか。人間として、自分の世話をすることが出来るかどうかは、男性の場合、育った環境によって左右される。
- ・生活経営は利潤の追求ではない。生産性の向上、効率化と表現していいのだろうか。また、幸福追求の「幸福」の定義が曖昧。
- ・福井の共働き率が高いのは、三世帯同居だからという実態がある。三世帯だからその分家事が多くなる。
- ・「逃げ恥」の漫画掲載が再開して、出来ることを互いにやるということになった。今後出産、育児、介護の問題がどのように取り上げられるのか、楽しみ。今回の学習会はテレビドラマをきっかけに、家事労働・性別役割分業を再度考えてみるよい機会になりました。(池田資子)

もう誰も帰れぬ家や仏の座  
たんぼぼや戦後庶民の写真展  
佐知子

## 『山川菊栄研究 過去を読み 未来を拓く』 ことばればなし 矢野 操(会員)

酷暑の昨夏、私は著者の伊藤セツさん、本間重子さんと共に、国会図書館憲政資料室にいた。

著者の執念ともいえるGHQ/ESCAPの菊栄資料を探すためであった。

もとより私は、マイクロフィルムとマイクロフィッシュの違いも知らなかったメカ音痴である。何の役にも立たないのに、資料探しに興味津津。

そして探し当てたひとつが、カバーに入ったKikue Yamakawaのローマ字サインである。

ある日は、神奈川県立図書館の「山川菊栄文庫」に通った。図書館内の女性関係資料室はゆったりとしたスペースがあり、他に訪れる人はまばらな空間で、贅沢な時間を過ごした。

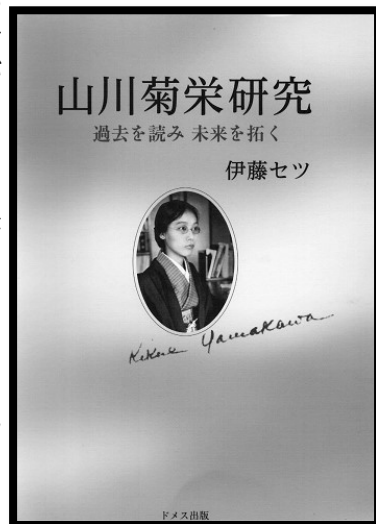
調べたい文献を学芸員に提示すると、すぐシャカシャカと検索してくれ「この本は書庫にありますので、少々お待ちください」といい、まもなく「貴重本ですから、職員のいる所でご覧ください」と1919年刊の菊栄著『婦人の勝利』を持ってきてくれるという具合である。

校正の作業に入ると、著者はこれまた凄い！細かい箇所ではっきり、もがいている私をよそに、瞬

く間にドサッと著者校正が返送されてくる。

メールが深夜の1時、2時、3時に入る。当の私は、その日のうちに布団に入る習慣なので、翌日は大慌てで処理。著者はいつ寝ておられるのかと本気で心配した。太極拳、ジム通い、水泳のおかげか。疲れた、なんて言わない。研究は一流、地域活動も怠らない“魔女”のような人。オールドボルシェビキ(自称)という友人は、「菊栄なんて反共でしょ。何であんなに懸命に研究するの。菊栄の現代的意義なんてわからない」という。しかし私は、今異なる歴史と文化をもつ女性運動組織が、その立場を尊重しながら、新しいジェンダー平等の日本の歴史を切り拓きたい！という願いが込められた本書を、自分が編集・担当できた喜びに満ちている。

一緒にやりましょうよ！と呼びかけられているのだと思う。



(ドメス出版 2018年11月刊)

## 2019年3・8国際女性デー 神奈川県集会に参加して 中嶋ひとみ(会員)

今年で72年目の3・8国際女性デーの神奈川県集会は、神奈川県公会堂で行われました。まもなく一斉地方選挙に突入という時期が影響してなのか、昨年に比べて参加者がまばらで、いまひとつ盛りあがり欠けた感じを受けました。しかしそういう中でも、来賓の畑野君枝衆議院議員や県知事予定候補の岸牧子さんから、オーストラリアのジェンダー指数が37位に対し、日本のジェンダー指数は110位とあまりにも低い現状にあることや、フランスの議員や閣僚は4~5割が女性で占められているという話などを聞いて、日本の女性達はもっともっと頑張らねばという思いを新たにすることができました。



女性デーの様子

記念講演はフリージャーナリストの関千枝子さんにアクセントがあり、急遽、太田伊早子弁護

士の「強い国なんていない～憲法で守る女性の人権」に変更となりました。弁護士10年目の太田弁護士は、驚くほど気さくで飾らない人柄でした。日本国憲法がどのような憲法であるのか、個人の尊厳を保障し、様々な人権規定を備えている憲法であるということ、その理論的中心となっている13条の話を皮切りに、14条がいかに女性の人権を守ってきたものであるのかを、尊属殺人の判決や、住友セメント結婚退職違憲判決、日産自動車差別定年制違憲判決の例を挙げて話してくれました。そして今、憲法を変えようとする自民党がどのような考え方なのかについて話がありました。9条の改正は平和主義の考え方を根本的に変更することになること、13条の変更により、今まで何とかギリギリ守られてきた女性の権利が守られなくなると警鐘を鳴らすような講演でした。話は具体的でわかりやすく、どんどん引き込まれていきました。もっと聞きたいところで時間がきてしまった感じでした。

講演後は、実行委員会参加の各団体から、ひとつひとつのアピールがあり、最後に全体アピールが拍手で確認されました。

平和を願う日本の女性は、世界の女性と手をつなぎ、改憲を必ずストップさせなければならないと強く感じる集会でした。

## 君嶋ちか子がゆく⑮ …神奈川県議会報告



### 「人権教育」に怒り

「ともに生きる社会特別委員会」の委員をしています。3月の委員会では、高校生に対する「人権教育」を取り上げました。

●「かながわ人権施策推進指針」は、「個人が尊重される社会、能力が発揮できる社会、共に生き支え合う社会」を掲げ、この指針に基づく男女共同参画づくりの取り組みの一つに「ライフキャリア教育支援事業」というのがあります。

●この高校生用教材は、「未来のライフキャリアプラン」を書かせますが、「何歳で結婚し、何歳で子どもをつくるなど書かせることにどれ程の意義があるのか」と私は問いました。

いずれも、人生の絶対的事項ではありませんし、計画すれば達成できる事柄でもありません。これが人権施策推進の中で取り組まれていることにも、愕然とします。

さらに、「ワクワク妄想用♥婚姻届けを書こう!」という呼びかけにもギョッとしました。DV被害などを別項でとりあげておきながら、結婚を妄想で導くという姿勢です。

## 後期高齢者のたわごと

白井 洸子(会員)

60歳の定年後21年たち、なんと81歳、夫が逝き、ひとり暮らしになってから4年です。

ポストの数ほど保育所を、とか学童保育を作れとかやってきたのに、今また保育園探しに奔走していることを見るにつけ、一向に女性の地位は向上していないと痛感。

世界経済フォーラムによると、日本の男女格差指数は、149カ国中110位(先進国で最下位)、政治参加は125位、経済分野は117位という低さ。また、世界報道の自由度指標では、180カ国中67位、G7のうち最下位「顕著な問題がある国」に分類されていて、韓国が20ランクアップし43位になったのを見ても遅れています。

GDPが世界3位だから経済大国日本、というけれど、それは、人口が多いからで、1人当たりのGDPになおすと、世界28位にしかならない。本当は日本は貧しい国なのに、国民は、豊かだという言葉に騙され、思い込まされているのだと思います。

●別の教材では、「もしも、理想の生活をするなら、どんな働き方をすればいいんだろう?」と、自主的選択が保障されているかのように無邪気に問いかけます。

「能力が発揮できる社会をめざすというのなら、状況を直視できる情報を提供し、働き方の問題点や、その状況を変えることを探るべき」と指摘しないではいられませんでした。

また、賃金等の男女差は全く問題としていません。「人権男女共同参画課の作成であるなら、男女差が生じる要因やその不当性をこそ語るべき」とまた怒りを覚えながら指摘。

●続いて「もしも、運命の人と出会えたら、結婚を考える?」と間抜けな問いかけをし「どこで出会ったのかな?」と、出会いの場の統計数字まで紹介。これも卑俗で無意味な話です。

人権とかけ離れ、かつ有害でさえある問いが続き、最後は、「もしも、自分が高齢になったら、どんな生活を送りたい?」とききました。高校生が実感を持って語れることではありません。今の切実な悩みや、今でなければ学べないことが他に沢山あるはずです!

●人生を考えることは大切ですが、それは決して生命保険会社もどきのライフプランを作らせることではありません。

命の大切さ、人間として何が大事か、自分や周りの人間を大切にすること、これらを学ぶことが人権尊重の基本ではないでしょうか。「ライフプラン方式の学びはやめるべき」と当局に求めました。

そして自己責任という言葉が蔓延していて、生活が苦しいのは、自分の働きが悪いから、仕方ないと思込まされてもいます。

女性への差別もひどい、先日も、国会議員や、医者が女性へのセクハラ(といっても強姦だと思うのですが)報道され、国会議員は説明もせず辞任で事をすましてしまった。また、痴漢の被害も多い、これも女性の方にもスキがあったという報道が多くされています。

一つには、日本の学校での性教育が自民党などの妨害で世界的に立ち遅れているからでしょう。幼いころから、きちんと教えないと、間違った知識で、愛情のない性行動を行ってしまうのではないのかしら。

3・11の報道をみても、決して復興がきちんとなされていないことに、胸が痛みます。

天皇退位とかで、10連休大げさな報道に頭が痛くなります。

フェイクニュースが蔓延し、暗いことが多い昨今ですが、なんとか、明るい未来になるよう微力ながら頑張りたいと思う日々です。

「みみずのたわごと」ならず、「後期高齢者のたわごと」です。

映画が好き

## 「グリーンブック」

池田 資子(会員)



ロードムービーの定番。旅の途中は色々とトラブルがあるけれど、いい感じで終わる。わかりやすく、温かく、そして涙と笑い。

1962年ニューヨーク、ナイトクラブの用心棒トニーは、2カ月間の失業となり、黒人ピアニストにコンサートツアーの運転手として雇われる。

コンサート会場に遅れずに到着する。ピアノは必ずスタインウェイ。クリスマス・イブにはニューヨークに戻る。差別が根強く残る南部へのツアーは果たしてどうなるのか。天才ピアニストとして名声を誇るシャーリーは何故、南部のコンサートに行くのか。黒人用旅行のガイド「グリーンブック」を手に、波乱を含んだ旅が始まる。

おしゃべりで大食漢のトニーと知的で物静かな

シャーリー。もともと黒人に偏見を持っているトニーが、シャーリーの演奏を初めて聴いた時からその才能を認め、「彼は天才だ」と妻への手紙に記す。クラシックを学びながら、黒人がクラシックの世界で成功することは難しく、シャーリーの演奏はジャズと融合した独自の音楽を確立している。彼が演奏の後、無理してほほ笑む姿や、ホテルでひとりウィスキーを飲むのを見てはトニーの心は痛む。少しずつ気持ちが通い始めるふたり。

南部を下るにつれて、様々な差別が明らかになる。白人専用のバー、黒人が泊まれるホテル、豪華な邸宅の黒人用トイレは屋外にあり、洋服の試着も出来ない洋品店、黒人お断りのレストランなど。それらの差別を人々は黙認し、伝統や掟だからと疑わない。

最後の町バーミングハムで怒りが爆発する。コンサートを中止して黒人たちのバーへ出かけたふたり。そこでシャーリーはショパンを弾いて、みんなを驚かせ、また、楽団の人たちとセッションをする。楽しそうにピアノを弾く姿を初めて見た時、彼の背負っていたものがどんなに大きいかかわかる。

クリスマス・イブに間に合うのか。大雪の中、車を走らせニューヨークに到着。そこで待っていたプレゼントとは……。

シャーリーは実在の人物。作品中の演奏はどれも素晴らしい。この映画は本年度アカデミー賞の作品賞を受賞。

## 農事日誌④ かわいい虫たちのこと

小島 八重子(会員)

野菜たちには、虫がつく。よい虫も、悪い虫もつく。これは人間の区分。よい虫も、悪い虫も、この世に生を受け、一生懸命種の繁栄のために生きている。とは思いつつも、やはり、存在に気がつけば退治させていただく。

みなさんは、キュウリなどのウリ科の植物を食しているウリハムシ（私はウリハちゃんと呼んでいる）をご存知でしょうか。金茶の5ミリほどの甲虫。とてもかわいらしく、飛び方もゼンマイ仕掛けのおもちゃのようにチャミングなので、とても悪い虫には思えない。これはまた、結構悪さする。普通、虫たちは、葉っぱを食べても、その植物が絶滅しないように、成長点などは食さない。なのにウリハちゃんは、成長点こそ食べないが、葉に円を描くように食する。結局葉脈を食べるのだから、葉がボロボロになって、水分移動も、光合成もできなくなる。やがて、枯れてしまう。キュウリなどはこのウリハちゃん対策が一番厄介。ウリハちゃん退治には、習性を知ること。つ

まり、ウリハちゃんは、早朝の涼しい時間帯には、動きが鈍い。しかし、太陽が昇り、体が温まると、動きは俊敏になる。退治するタイミングは早朝。また、葉の裏についたウリハちゃんは必ず下に向かって死んだふりをして落ちる。その時は葉の下に手を広げるだけで簡単に退治できる。

そのほかにも、せっかく植えた野菜が根元からちょん切れている場合があるが、ネキリムシ（カブラガヤの幼虫）の仕業だ。地面を掘ると必ず、ねずみ色の2センチ位の幼虫を発見することができる。ピーマンなどにはカメムシがつく、カメムシは地面に払い落とし、足で踏む。トウモロコシにつくアワノメイガの幼虫は、丁度食べごろの時に私たちより先においしいところを食してしまう。売っているトウモロコシのように虫食いのない状態で食べたことは私たちは一度もない。

虫たちも生きるために必死。あまり目くじら立てずに、適当に退治し、虫を食べる昆虫を増やす環境を整え、程よい共生を心がけている。



ウリハムシ